

徳島県企業局経営計画における「進行管理表」の 令和元年度進捗状況及び評価について

1 徳島県企業局経営計画の推進方策

- ・平成29年度を初年度とする10年間の「企業局経営計画」について、計画的に事業を実施し、効果的・効率的な事業の推進を図るため、PDCAサイクルによる進行管理を実施
- ・令和元年度の進捗状況について、「企業局戦略会議」で評価し、外部有識者による「戦略的経営推進委員会」に報告、意見を聴取
- ・進捗状況及び評価の結果を、企業局ホームページで公表

2 進行管理表の達成状況別取組数

取組数	進捗状況			
	A 順調または妥当	B 概ね順調または概ね妥当	C 要努力	D 要見直し
61 【H30実績】	52 (85%) 【49 (80%)】	7 (12%) 【11 (18%)】	2 (3%) 【1 (2%)】	0 (0%) 【0 (0%)】

主な実績と評価

【】はH30の評価

経営目標1 社会貢献の加速

- C No.1：廃止発電所、砂防堰堤などを活用した実証モデルの検討・導入
【A】（KPI：令和2年度から小水力発電施設の実証実験，㊟機器設置）
㊟「小水力発電事業化プラン協働推進事業」に着手
- C No.7：地域が進める森づくりを支援
（KPI：令和3年度までの5年間で500haの取得支援，㊟100ha／年）
㊟那賀町において63haを公有林化
- A No.8：企業局の森づくりを情報発信
（KPI：スマート回廊周辺において林業体験エリアを設置・活用，㊟活用）
㊟「森林体験エリア」で間伐体験を実施、東屋新築工事着手

経営目標2 安全安心の確保

- A No.17：工業用水道管路の耐震化
（KPI：令和3年度までに緊急性の高い管路8.4kmの整備，㊟40%完了）
㊟進捗率75%：今切配水本管管更生等により耐震化が2,606m進捗
（KPI：応急的な河川からの取水について、他機関との連携・推進，㊟活用）
㊟農水管との接続、河川からの直接取水に係る設計実施
- A No.23：BCP、応援協定等の見直し
（KPI：新たな災害に対応したBCP等の見直し，㊟適宜見直し）
㊟「企業局事前復興マニュアル」を作成
- A No.40：大学、民間等の連携
（KPI：産官学連携による点検等の省力化、効率化の調査・研究，㊟調査研究）
㊟点検が困難な日野谷発電所サージタンク内調査にドローンを活用

主な実績と評価（つづき）

経営目標 3 経営力の強化	
A	No. 48：最適な売電方法の検討
【B】	(KPI：社会情勢等を見据えた最適な契約方法の検討，㊦検討) ㊦売電単価に環境価値を付加し、過去最高の売電単価にて契約
B	No. 53：駐車場の他施設、イベント等との連携 (KPI：キャンペーン等の実施，㊦2回以上／年) ㊦阿波踊り練習者を対象に夜間定期券の割引実施
B	No. 55：土地造成リース契約企業への営業活動、他部局連携による情報収集 (KPI：企業訪問、部局連携による情報収集，㊦情報収集) ㊦企業訪問の実施、商工労働観光部との連携による情報収集

3 経営計画の取組事項と進捗状況の評価

取組事項	項目数	評価			
		A	B	C	D
経営目標 1 社会貢献の加速					
① 自然エネルギー導入の加速	3	2	0	1	0
② 既存ストックの有効活用と政策連携による 地方創生への貢献	7	6	0	1	0
③ 戦略的な情報発信の推進	5	5	0	0	0
経営目標 2 安全安心の確保					
④ 南海トラフ巨大地震・活断層地震対策、 老朽化対策	6	6	0	0	0
⑤ 危機管理体制の強化	8	8	0	0	0
⑥ 適正な施設の維持管理	5	5	0	0	0
⑦ 工事、維持管理等の効率化	2	2	0	0	0
経営目標 3 経営力の強化					
⑧ 未来を切り拓く人づくりと組織づくり	7	7	0	0	0
⑨ 経営資源の有効活用	11	4	7	0	0
⑩ 情報収集の強化	7	7	0	0	0
計（再掲を除く）	61	52	7	2	0

4 戦略的経営推進委員会での主な意見（令和2年8月3日開催）

- ・電力システム改革による情勢変化に的確に対応し、安定経営に努めていただきたい。
- ・得た利益を修繕に充て、施設の老朽化対策にしっかりと取り組んでいただきたい。